

2014年5月28日

ノートパソコン用バッテリーパック 事故防止のためのリコール社告実施について

パナソニック株式会社は、2011年4月から2011年10月に製造したノートパソコン2シリーズ(CF-S10シリーズ、CF-N10シリーズ)の一部の機種に同梱したバッテリーパック、およびオプション・サービス用に販売したバッテリーパックについて事故防止のため市場対応(バッテリーパックの交換)を行います。

当該機種でバッテリーパックが過熱し、本体およびその周辺が焼損する事故が3件発生しました。いずれも人的被害には至っておりません。調査の結果、同梱・オプション販売に使用したバッテリーパックのなかに、特定期間における製造上の問題により、まれに発煙・発火に至る可能性のあるものが混入していることが判明しました。

当社は事故防止のためにリコール社告を行い、対象製品をご使用中のお客様にはバッテリーパックを取り外していただくようお願いするとともに、無料でバッテリーパック交換を実施します。

お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 対象製品および個数

| 対象バッテリーパックの品番 | 対象製造期間 | 対象個数 |
|--|---------------------|-------------|
| CF-VZSU60AJS CF-VZSU61AJS CF-VZSU64AJS | 2011年4月～2011年7月(*1) | 43,140個(*2) |

(*1) 交換の対象となるバッテリーパックの製造期間

(*2) ノートパソコン本体に同梱のバッテリーパック、およびオプション・サービス用
バッテリーパックの総数

パソコンの機種/バッテリーパックの品番と生産ロット記号の確認方法

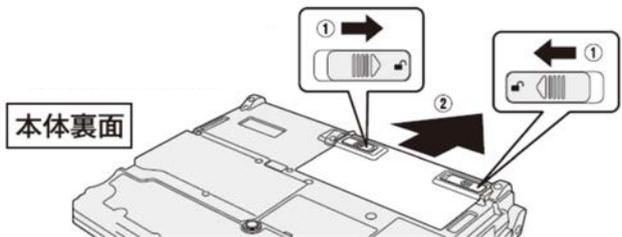
1) パソコンの機種の確認

パソコンの機種は、本体の機種表示をご確認ください(下図参照)。



2) バッテリーパックの取り外し

本体電源を切り、
バッテリーパックを取り外してください。



3) バッテリーパックの品番と生産ロット記号の確認

バッテリーパック品番と生産ロット記号は、バッテリーパックの銘板をご確認ください。
対象バッテリーパックの前述対象製造期間内でもバッテリーパックの生産ロットによって対象外の製品があります。回収対象品は、生産ロット記号が下記の「対象バッテリーパックの品番と生産ロット記号」一覧に該当するものとなります。



Panasonic

品番 **CF-VZSU61AJS**
バッテリーパック
Li-ion電池 OUTPUT 7.2V
13.6Ah(typ.)

バッテリーパック品番

品番: CF-VZSU60AJS
CF-VZSU61AJS
CF-VZSU64AJS



対象バッテリーパックの品番と生産ロット記号

| 品番 : CF-VZSU60AJS | | | | | | |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|
| 生産 ロット 記号 | B4VA | B5DA | B5YA | B7EA | B7LA | |
| | B59A | B5GA | B63A | B7FA | | |
| | B5CA | B5HA | B7DA | B7KA | | |
| 品番 : CF-VZSU61AJS | | | | | | |
| 生産 ロット 記号 | B4WA | B5CA | B5KA | B5TA | B68A | B7CA |
| | B56A | B5DA | B5LA | B5VA | B69A | B7DA |
| | B57A | B5EA | B5MA | B5ZA | B6AA | B7MA |
| | B59A | B5GA | B5PA | B61A | B6DA | |
| | B5AA | B5HA | B5RA | B62A | B6EA | |
| | B5BA | B5JA | B5SA | B63A | B6FA | |
| 品番 : CF-VZSU64AJS | | | | | | |
| 生産 ロット 記号 | B4VA | B5PA | B6LA | B76A | | |
| | B5DA | B62A | B6MA | | | |

1. 事故の概要

| No | 機種品番 | 発生日 | 発生場所 | 被害状況 | 報告先 |
|----|-------------|----------------|--------|-----------------------|---------------|
| 1 | CF-S10CYPDR | 2013年 7月29日 | タイ(*3) | 当該製品および周辺を焼損 | — |
| 2 | CF-S10CYADR | 2014年 1月16日 | 東京都 | 当該製品を充電中、当該製品および周辺を焼損 | 消費者庁 経済産業省 |
| 3 | CF-S10DVCDP | 2014年 2月2日 | 神奈川県 | 当該製品を充電中、当該製品および周辺を焼損 | 消費者庁 経済産業省 |

※いずれの事故も、人的被害には至っておりません。

(*3) 日本で購入したノートパソコンをタイ国内で使用

2. 社告に至る経緯

- (1) 2013年7月、タイにて事故が発生し、バッテリーパック部分からの発火であったことを確認しました。この件については、当時、バッテリーパック内の電池セルに起因すると推定しましたが、原因特定には至りませんでした。
- (2) 2014年1月、東京都にて事故が発生。バッテリーパック部分からの発火であったことを確認したため、製造工程履歴調査、再現検証など更なる原因特定に向けた取り組みを進めました。
- (3) 2014年2月、神奈川県にて事故が発生し、バッテリーパック部分からの発火であったことを確認しました。焼損状態の解析、および当該品番のバッテリーパック収集と分解・解析により、バッテリーパックに使用している電池セルに起因する可能性が高いと判断しました。
- (4) その後も事故品の解析・検証をさらに重ねる中で2件目の事故品を4月24日に入手し、解析した結果、4月末に次節の通り3件とも同一原因であると特定しました。以上から、今後の事故防止のためリコール社告実施を決断しました。

3. 原因

電池セルの封口板(正極)とケース(負極)の間に微細な導電性異物がはさまった状態で充放電が繰り返されることによって絶縁性が失われ、異常過熱して発煙・発火に至ったと特定しました。

2011年3月29日から2011年5月11日の間、設備調整上の不備があり、この期間に製造された電池セルにおいて微細な導電性異物が封口部に付着する可能性がある状態であったことを確認しました。

4. 対象の特定

2011年4月から2011年10月に製造したノートパソコン2シリーズの一部の機種に同梱したバッテリーパック、およびオプション・サービス用に販売したバッテリーパックのうち、2011年3月29日から2011年5月11日までに生産した電池セルを使用したバッテリーパックが回収対象となります。

5. お客様への対応

- (1)対象バッテリーパックをお持ちのお客様には、当社にて無料でバッテリーパックの交換及び回収を実施します。
- (2)明日5月29日、新聞紙上で、リコール社告を行います。
- (3)当社ホームページでもお知らせします。<http://askpc.panasonic.co.jp/info/140528.html>
- (4)本日から、フリーダイヤルにてお問い合わせをお受けします。

フリーダイヤル 0120-870-163

受付:9時から21時(6月27日まで毎日)

9時から17時(6月28日以降、土、日、祝日を除く)

上記ホームページでも受付しております。

<補足>

なお、海外法人専用モデルのCF-H2が前述のバッテリーパックと同一の電池セルを使っており、お客様に販売した海外販売会社を通して市場対応します。

以上